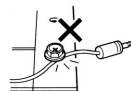
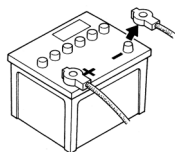


取り付ける前に

- 作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外しておいてください。
- 安全運転のため運転の妨げにならないところに、また本機の放熱効果が十分発揮されるようなところに取り付けてください。
- 取り付ける前に仮接続をして本機が正しく動作するか確認してください。
- 取り付けは必ず付属の部品(ねじなど)を指定通り使用し、しっかり固定してください。指定以外の部品を使用しますと、内部の部品がこわれたり、ゆるんで外れたりすることがあります。
- ねじやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようにご注意ください。
- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意してください。
- 取り付けが困難な場合はお買上げの販売店にご相談ください。
- 車種によっては、コンソールボックスなどに取り付けるとき、「取付キット」(市販品)を必要とすることがあります。この場合の取り付けかたは、「取付キット」の説明書をご覧ください。なお、インコンソールに取り付けができない車種もありますので、お求めの際、ご自分の車種・年式に適合するかお買上げの販売店でお確かめください。



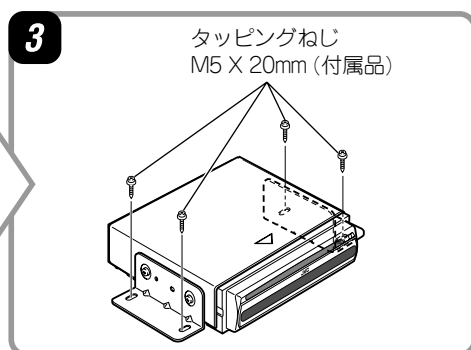
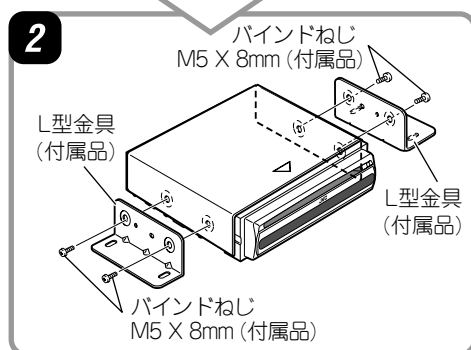
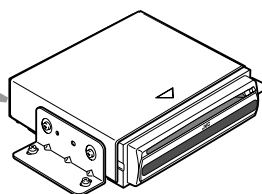
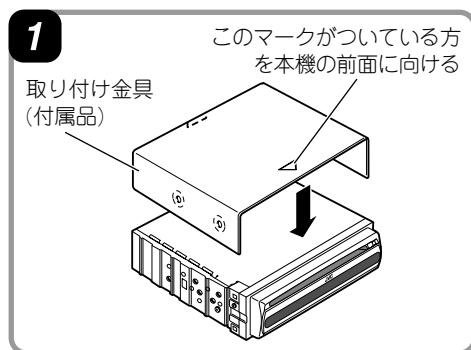
ご注意

- 取り付け金具(車のブラケット)を本機に取り付ける際は、必ず付属のねじ(長さ8mm)をお使いください。8mm以上のねじを使用しますと故障の原因になります。
- 本機を取り付けるときは、水平な場所を選びパーキングブレーキをかけ、エンジンキーを「OFF」にしてから行なってください。
- 本機は、DC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。
- 配線をするときは、車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流容量オーバーにより火災の原因となります。

取り付け方法

床に取り付ける場合

1. 接続後(「接続のしかた」を参照)、付属の取り付け金具をかぶせる
2. 付属のL型金具を取り付ける
3. 本機を取り付ける位置の床に穴を開け、固定する(背面のファンの通風を妨げないように取り付ける)



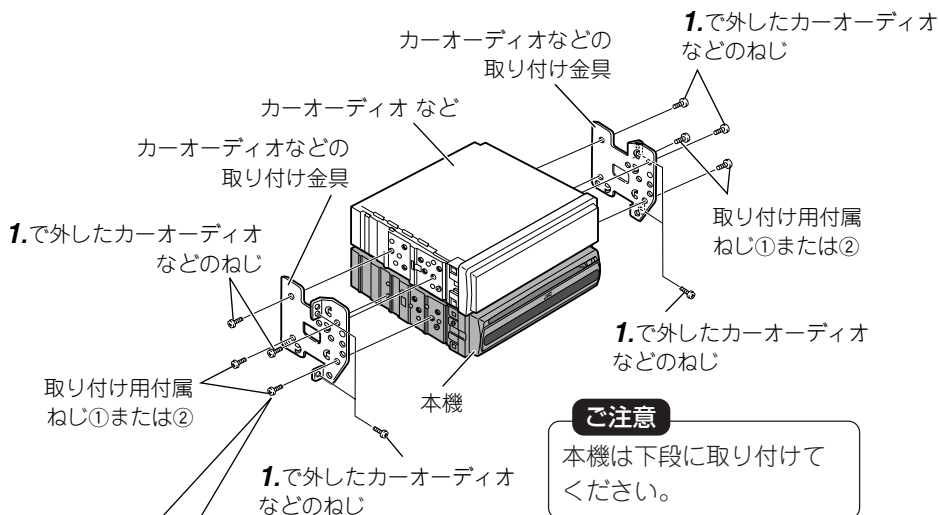
ご注意

- 運転の妨げになる場所には絶対に取り付けしないで下さい。
- 必ずカーペットの上に取り付け、ディスクの出し入れが容易にできる位置と向きになるように設置してください。
- 床に穴をあけるときは裏側に何も無いことを確認してください。
- 床に本機を固定するときはワイヤーをはさみこんで締め付けないように注意してください。

ダッシュボードにカーオーディオなどと組み合わせて取り付ける場合

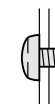
1. ダッシュボードに取り付けられているカーオーディオなどを外す
2. 本機にカーオーディオなどの取り付け金具を取り付ける
3. 接続する(「接続のしかた」を参照)
4. 車両に固定する(背面のファンの通風を妨げないように取り付ける)

- イラストは一例です。
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。



〈取り付け用付属ねじ〉

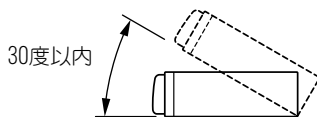
- ① バインドねじ M5 X 8mm ② 皿ねじ M5 X 8mm



取り付け金具の穴の形状に合わせて選んでください。

〈本機の取り付け角度〉

傾きは30度以内で取り付けてください。



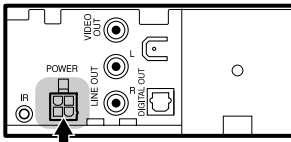
- 外したねじ類は紛失しないように大切に保管してください。
- 取り付け金具の凸部分やツメが邪魔になるときは、ハンマーなどで平らにしてから使います。作業の際には安全に十分ご注意ください。



接続のしかた

—必ずお読みください。—

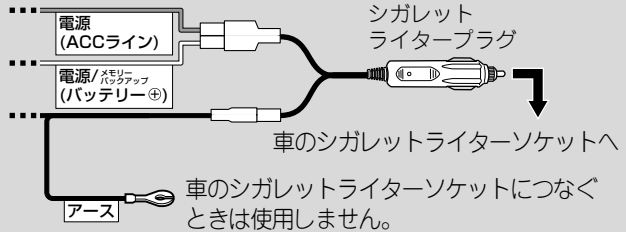
接続コードをつなぐ



接続コード (4ピン)
(付属品)

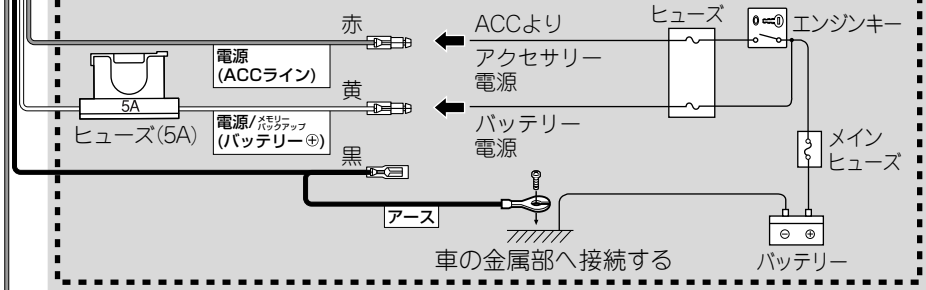
■ 電源コードの接続をする

車のシガレットライターソケットにつなぐとき

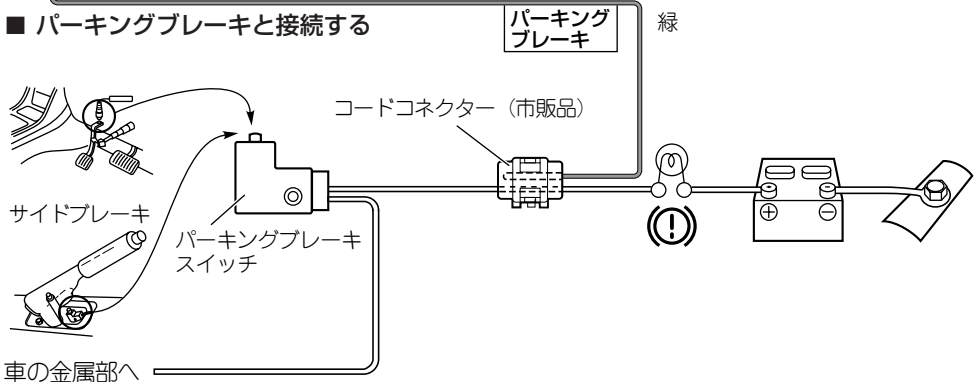


車のバッテリーに直接つなぐとき

付属の接続コードからシガレットライタープラグを外して使います。



■ パーキングブレーキと接続する

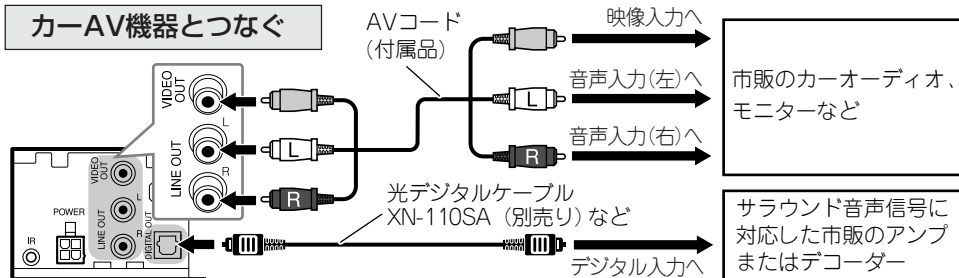


接続が終わったら

- 外しておいたバッテリーの^{マイナス}端子のコードを元のように接続し、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどの電装品が正しく動作するかお確かめください。

接続のしかた (つづき)

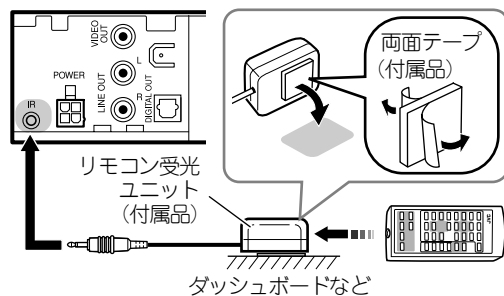
カーAV機器とつなぐ



- DIGITAL OUT 端子からは、デジタル音声信号(リニアPCM、ドルビーデジタル)が出力されます。詳しくは取扱説明書21ページの「DIGITAL OUT 端子からの音声出力について」をご覧ください。

リモコン受光ユニットをつなぐ

本機全面にあるリモコン受光部がリモコンからの信号を受けられないような場所に本機を取り付けたときは、付属のリモコン受光ユニットをお使いください。



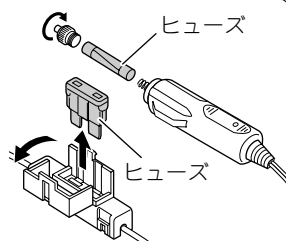
ご注意

- 取り付ける前にその取り付け位置でリモコンが正しく動作するかお確かめください。
- 取り付ける場所の汚れをよく落としてから取り付けてください。

ヒューズの交換

電源コードとシガレットライタープラグのヒューズは5A(アンペア)です。交換してもすぐ切れる時は、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、5Aをこえるヒューズは絶対に使用しないでください。

- シガレットライタープラグのヒューズを交換する際、ヒューズやスプリングが外に飛び出すことがあります。ヒューズやスプリングをなくさないようご注意ください。



接続が終わったあとの動作確認について

まず車のエンジンをかけてから、本機の電源を入れてください。次にリセットボタン(→取扱説明書 23ページ参照)を押して本機をリセットしてください。そのあと正しく動作するかお確かめください。エンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません。それでも正しく動作しないときは、取扱説明書23、24ページの「故障かな?と思う前に」をご覧ください。

安全上のご注意

—はじめにお読みください。—

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

配線作業中は、バッテリーの^{よける}端子のコードを外す。



- ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にしない。



- リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げるなど運転に支障をきたす場所に危険を及ぼす場所には取り付けない。



- 交通事故やけがの原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。



また、加工部のさび止めや浸水防止の処置を施す。

- 交通事故や火災の原因となります。

取り付けやアース線を接続する場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のねじは絶対に使用しない。



- これらを使用しますと制動不能や発火・事故の原因となります。

エアバックのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない。



- エアバックが正常に作動しなかったり、作動したエアバックで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

注意

本機の取り付けや取り外し・配線には、専門技術と経験が必要です。



- 安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- 場合によっては、本機が熱くなることがありますので火傷やけがに十分ご注意ください。

必ず付属の部品を指定通り使用する。



- 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避ける。



- 本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火・故障の原因となることがあります。

必ず、パーキングブレーキコードを接続してお使いください。



- 交通安全のため、走行中はモニターの映像が表示されず、音声のみとなります。また停止状態でもパーキングブレーキをかけないと、映像は表示されません。

本機を不安定なところに取り付けない。



- 正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

振動の多いところなど、しっかり固定できないところへの取り付けは避ける。



- 外れて事故やけがの原因となることがあります。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



- 接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正しく動作することを確認してください。

車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないように注意する。



- 断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。